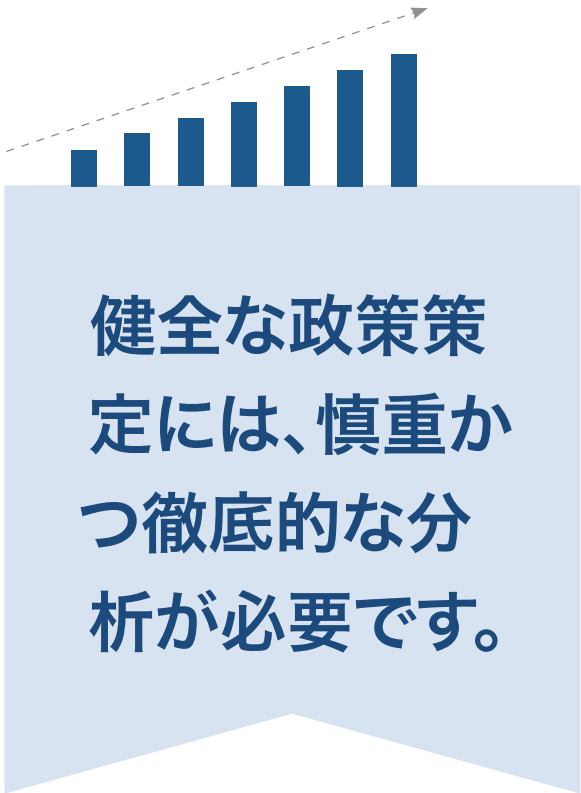


州のエネルギーの推進



健全な政策策定には、慎重かつ徹底的な分析が必要です。

カリフォルニアは世界で最も野心的な気候とエネルギー目標を持っています。州のエネルギーシステムのアクセス可能性、信頼性、安全性、および手頃な価格を確保しながら、これらの目標を達成するには、今日の難題のいくつかに対する慎重な計画と政策ソリューションの特定が必要です。

カリフォルニア州エネルギー委員会は、州の主要なエネルギー政策および計画機関として、カリフォルニア州の緊急時のエネルギーニーズと課題を特定し、解決するための一貫したアプローチを提供します。そして、統合エネルギー政策報告書 (IEPR) を作成し、州および連邦政府機関、その他の利害関係者がエネルギー計画と政策を策定し、実施します。

エネルギー政策の発展

健全な政策の開発には、慎重かつ徹底した分析が必要です。IEPRには、カリフォルニア州のエネルギー産業、供給、生産、輸送、配送と流通、需要、価格の評価と分析が含まれます。また、10年間の電力需要と天然ガス需要も含まれています。

IEPRは、温室効果ガスの排出を削減し、電力の信頼性を確保し、州の経済を強化し、公衆の健康、安全、環境を保護するエネルギー政策の推奨事項を知事および議会に提供します。



IEPRで提案された政策は、広範な影響を及ぼしており、しばしば法律で支持されている。例えば、Aliso Canyon貯留施設での天然ガス漏れにより上昇した気候とエネルギー信頼性のリスクに対応して、2017年のIEPRは10年以内に施設を閉鎖する計画を求めました。その後、カリフォルニア州公共事業委員会(CPUC)は、この道筋を検討する手続きを開始しました。

電力需要予測は、コスト効率のよい、環境に優しく、信頼性の高い方法で需要を満たすためのインフラストラクチャ計画にとって重要です。CPUCおよびCalifornia Independent System Operatorは、この予測を発電調達および送電計画に使用します。政策が進展するにつれて、徹底的な分析を支援するためには、エネルギー委員会が詳細なデータを必要としています。2015年のIEPRは、電力と天然ガスの季節的、時間的、地方的な需要を予測する必要性が高まることを予期していました。2018年に承認された新しいデータ収集ルールは、これらの予測を改善し、カリフォルニアのエネルギー問題と政策影響についての詳細な洞察を提供します。

州のエネルギー目標を達成するための計画

低炭素経済への移行には、長期計画が必要です。

電気部門における温室効果ガスの排出量は、電力の需要とその電力を発電するために使用される燃料の炭素強度によって駆動されます。2030年の計画目標は、エネルギー委員会とCPUCからの意見を受けて、カリフォルニア大気資源局によって採択されています。これらの目標は、電気サービスの信頼性を確保しながら、負荷管理エンティティが少なくとも長期間にわたりカリフォルニア州の長期的な温室効果ガス削減目標を達成するよう努めています。

カリフォルニア州は統合された資源計画を再活性化させています。手頃な価格、信頼性、恵まれない地域社会への影響をバランスさせながら、温室効果ガス排出量の削減、エネルギー効率の2倍、輸送の効率化に必要な措置を取り入れます。

エネルギー委員会は、エネルギー需要の見通しと、多面的な南カリフォルニアの信頼性計画のための利用可能なリソースを引き続き提供しています。これは、一度の冷却やその他の環境要件、サンオノフル原子力発電所の急閉鎖、ディアブロキャニオン原子力発電所の計画的閉鎖などにより、天然ガス発生装置が閉鎖された結果です。



Governor
Gavin Newsom

Chair
Robert B. Weisenmiller, Ph.D

Executive Director
Drew Bohan

Commissioners
Karen Douglas, J.D.
David Hochschild
J. Andrew McAllister, Ph.D.
Janea A. Scott, J.D.

energy.ca.gov | facebook.com/CAEnergy | twitter.com/calenergy | instagram.com/calenergy

January 2019